



発行

NPO法人 大阪難病連加盟
大阪乾癬患者友の会(梯の会)

特集

みんなで語ろう乾癬について in鹿児島2022



・・・ Index ・・・

・全国学習懇談会	P1	・乾癬治療記	P17
・猿渡先生講演	P3	・乾癬雑記	P18
・東先生講演	P11	・乾癬ワンポイントアドバイス	P19
・患者体験記	P14	・お知らせなど	P20
・女子会参加記	P16		

みんなで語ろう乾癬についてin鹿児島2022

鹿児島へ全国から結集

対面とオンラインで実施

さる9月10日(土)15時から、かごしま県民交流センターで「全国乾癬学習懇談会inみんなで語ろう乾癬についてin鹿児島2022」が行われました。

全国学習懇談会は今まで、日本乾癬学会学術大会に併せて開催されてきましたが、コロナ禍の為、対面で開くことができませんでした。今回、2019年の京都以来、3年ぶりの対面での実施となりました。当日はオンラインとの併用でしたが、本当に久しぶりに全国の患者会からの参集でした。15時より、日本乾癬学会理事長、森田明理先生(名古屋市大)からご挨拶を頂きました。

今回の医療講演は地元鹿児島から、まず猿渡ひふ科クリニック院長、猿渡浩先生が「乾癬くんと付き合い方」

「実はそんなに悪い人ではないかもよー」という演題でお話をしてくださいまし

た。先生は乾癬を雨に、また様々な治療法を雨具に例え、その治療法を大変具体的に分かりやすく説明されました。私たちは自身の乾癬をなかなか治らない疾患としてつい深刻に捉えますが、先生は、乾癬は雨のようなものであり、ひどい雨もあれば少しの雨もある。それに対して私たちは傘をさしたり、カッパを着たり、時にはタクシーに乗ったりする。乾癬治療もそれと同じく重症度によって適切な治療法をうまく利用していくのがいいとおっしゃいました。「やまない雨はない」というお言葉が非常に印象的でした。

また鹿児島大学皮膚科准教授の東裕子先生は「膿疱性乾癬の特徴と治療」という演題で、乾癬の中では難病にな

る膿疱性乾癬の症状や治療法について詳しくお話をしてくださいました。東先生は膿疱性乾癬の発症メカニズムやその特徴、さらに内服薬や生物学的製剤を使った治療法について説明していただきました。新薬や顆粒球単球吸着除去療法という治療法についても詳しくお話していただきました。

患者体験談としては鹿児島乾癬患者会(KAPPA)のS氏が自身の体験を語ってくれました。発症歴と共に、特に乾癬性関節炎になり、その症状や顆粒球単球吸着除去療法を用いた治療の中身についてその実際を話してくれました。リハビリをしてかなり回復をし、現在は副会長として患者会活動にも頑張っておられるS氏の話は聞いていた者も勇気づけられるものだったと思います。

その後質疑応答が行われ、鹿児島学会に参加されておられた本会相談医の東山眞里先生を始め、学習会に参加していただいた全国の相談医の先生方にも加わっていただき、会場やオンライン上の質問に一つ一つ大変丁寧に答えていただきました。

今後はコロナ禍以前のように、さらに多くの全国の患者会会員が集えるような学習会になればと思いました。